

こんなことに取り組んでいます！ ～プロジェクトの主な活動紹介(平成 20 年度)～



①「おらが川」人が親しめるきれいな川づくり

◆家棟川エコ遊覧の実施

川の現状を間近で見て、知ってもらうため、昔ながらの手漕ぎによる遊覧船を運航しています。325 人の市民が参加され、心無い行為で川べりに散乱しているごみを目の当たりにされました。一方で、姿を消していたホタルが復活する地域が増えたり、ビワマスが遡上するなどの河川環境に変化が見られるようになってきています。

②内湖の復活で琵琶湖を守ろう ◆里川・内湖フォーラムの開催

川づくりに取り組んでいる団体や自治会、以前に内湖があった自治会などが協力し、フォーラムを開催しました。かつて野洲にも多くあった内湖は、ヨシなどが茂り多様な生物を育み水環境に寄与する水域でした。今後こうした水域を復活させるため、市内の川づくりに取り組む団体や自治会と連携を図っていきます。

③葦地帯をみんなで増やそう ◆ヨシ植えイベントの開催

かつてびわ湖周辺に群生していたヨシ帯は、水辺の生き物にとって重要な生息場所でした。地元の小学生も苗作りに参加して、びわ湖の環境を保全するためにヨシ帯を復活させる取り組みを進めています。



④琵琶湖を身近なものにしよう ◆あやめ浜まっりの開催

びわ湖の現状を多くの方に知ってもらい、水環境の保全を啓発するため、昨年に引き続き、菖蒲（あやめ）浜でびわ湖に親しむイベントを開催しました。200 人以上が参加し、びわ湖の環境学習、シジミ取り体験、湖魚食の試食、漁船への体験乗船、浜の清掃などを行いました。

⑤環境保全型農業推進計画 ◆現地学習会の実施

環境保全型農業とは、農薬の使用を減らしたり、自然の力を最大限に活用する持続性のある農業をいいます。環境に配慮して、おいしくて安全な農作物を作っておられる農業者の方を講師に、現地での学習会を実施しました。

⑥野洲の里山の自然に触れよう、知ろう／⑦山の木を利用し、市民の手で野洲の山を守ろう

◆大篠原や小堤の山を歩く自然体験イベントの開催

里山の保全を進めるために、地元の自治会や生産森林組合、企業の協力を得て、大篠原・小堤地区の里山の林道整備とハイキングを行っています。イベント参加者がリピーターとなり、里山の保全活動への参加者も増えてきています。



⑦まちなかの緑ボリュームアップ大作戦／⑧河畔林の再生

◆河辺林での自然観察会の開催

市街地から琵琶湖へと連なる樹林帯を創り上げ、緑豊かなまちに変えていくため、野洲川の河辺林（市三宅地先）を保全して、木漏れ日の中で散策が楽しめる「緑のプロムナード」作りを行っています。この河畔林の豊かな自然を知ってもらうために、県立大学の野間先生を招いて観察会を開催しました。



⑨みんなで進める環境学習

◆環境フォーラムの開催

「地球温暖化について考えよう」をテーマに、温暖化の現状とそれがもたらす影響を学び、私たち一人ひとりが行動を起こすことの大切さを訴えるため、学区単位で学習会を開催しました。



⑩生ごみ資源化システムづくり

◆家庭における生ごみ堆肥化方法の比較実験を実施

家庭での生ゴミの堆肥化を進めるため、家庭で簡単にできて、省エネにも配慮した生ごみ処理方法の比較実験を行っています。

⑪天ぷら油を捨てずにエネルギー（BDF）化しよう

◆事業者向け廃食油回収アンケート調査を実施

野洲市での廃食油の排出量を把握するため、飲食店や事業所を対象にアンケート調査を実施しました。回答を集計した結果、約半数が資源化されていないことがわかりました。昨年度実施した市民向けのアンケート合わせて、効率的な回収方法を検討していきます。



⑫お得で楽しいリユースステーションをつくろう

◆リユースセンターの試行開始

資源の有効利用を進めるために、ごみとして出されている不用品を希望する市民へ譲るリユースセンターの試行を開始しました。平成 21 年 3 月に実施した第 1 回目には、50 人以上の方が参加され、捨てられるはずだった家具や食器などが再び利用されることとなりました。

⑬「こんなエコな店あるよ！」ガイドブック作成事業

◆小売店舗への事前調査を実施

環境に配慮した商品を扱っていたり、レジ袋の削減や簡易包装の実施などごみ減量に努めている商店の拡大を図るために、ガイドブックの作成を行います。平成 20 年度は、商店への事前調査を実施しました。

⑭一人ひとりが自動車社会見直す「エコドライブ活動」

◆エコドライブ教習会の開催

誰でも簡単に、お金を掛けずに低燃費にできてしまうのが、エコドライブです。CO₂の排出量も削減できるエコドライブを地域や企業で広めるリーダーを増やすため、昨年度から「エコドライブ教習会」を開催しています。



⑮ごみを出さない売り方・買い方が広がるまち

◆ごみを減らそうフォーラムの開催



買いものから発生するごみの減量をめざして、まず身近なレジ袋の削減を通じて環境に配慮したライフスタイルを考えてもらおうと自治会などへの出前講座をはじめ、事業者と行政も交えたフォーラムを実施しました。今後は市民、事業者、行政による検討会を立ち上げ、レジ袋削減の仕組みづくりに取り組みます。